

大会結果集計ミスのお詫びと今後の対策について

ENS 実行委員会 代表 内嶋 亮

いつも ENS をご愛顧いただきありがとうございます。

2020年9月27日に白馬岩岳で開催いたしました ENS（エンデューロナショナルシリーズ）において、当日発表リザルトに間違いが発生しました件に関し、以下の通りご報告と今後について発表いたします。

経緯

この度のリザルト間違いの大きな原因は、集計時に B クラスの S1 計算データに間違いがあり、これに気がつかず表彰および発表を行ったことにあります。

具体的には集計システム上で各選手のスタート時間が 1 名分ずれていたことにより、B クラス全選手の S1 タイムが本来よりも 30 秒遅く計算されてしまいました。

表彰時刻になったため確認不足のままリザルト発表よりも先に表彰式を開始し、誤った表彰を行ってしまいました。

計測方法について

ENS は各選手スタート時間が決まっておりますので、各ステージ各選手ゴール時間からスタート時間を引いたものが各自の走行タイムとなります。

ゴール計測は光電管を使用し、選手がここを通過すると接続された 2 台の計測機（1 台はバックアップ）が反応します。

この反応したデータ番号と選手のゼッケン番号をゴール計測員が記録用紙および集計ソフトで紐付けします。

収集した計測データは集計担当者が CSV で PC に取り込み、ゴールの計測データとスタート時間データを基に走行タイムを算出します。

これらを岩岳の場合には 3 ステージ全てで実施し、合計タイムにより順位決定し大会結果となります。

対策

集計データの事前準備時の確認の徹底。（今回の 1 名分のずれはここで回避）

各ステージ終了ごとにステージタイムと順位からエラーチェックを実施。（B クラスだけ遅いという客観的事実を発見できる）

全ステージ終了後総合リザルト完成時に 2 名以上でエラーチェックを実施。（最終確認）

リザルト発表と表彰式は上記チェックを実施してから行う。

* 今回の事例は表彰式開始の優先などにより、最終確認の不足が修正機会を失うことの要因にもなりましたので、あらためて表彰式よりも「正しいリザルト発表」を最優先事項とし、今後は安全対策に留意し、正確な計測集計を行い、参加者にとって公平で楽しいイベントにできるよう努めさせていただきます。

表彰対象であった方々はもちろん、参加された皆様にあらためましてこの度の件を深くお詫び申し上げます。